



研究者名※	和田 直人 WADA Naoto	学位※	修士(芸術学)
所属※	家政学部 児童学科	職名※	教授
連絡先	wadan@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0169199		
研究分野※	複合領域、社会科学、人文学		
研究キーワード※	芸術、デザイン論、デザイン教育、幼児教育・保育、視覚障害、芸術表現、基礎造形		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害児童のための絵本開発と手作り絵本による脳力開発 (科学研究費・基盤研究C・研究代表者、2014年～2017年) ・教育学部の情報教育に関する教科教育学構築の試み (科学研究費・一般研究C・研究代表者、1995年) 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・板橋区立中央図書館・日本女子大学連携事業「親子読み聞かせ講座」講師(2021年) ・モダンアート協会運営委員(2019年～現在) ・全国公募モダンアート展審査委員(1999年～現在) ・山形県屋外広告物審議会委員 審議会会長(2009年～2020年) ・山形県屋外広告物講習会講師(2009年～2020年) ・山形県高等学校デザイン教育ネットワーク顧問(2005年～2016年) ・山形県高等学校デザインコンクール審査委員(2005年～2016年) ・山形県大江町サイン計画 大江町企画課連携計画(1995年) ・山形県造形連盟大学部会事務局(1993年～2001年) 		
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回モダンアート展 優秀賞 東京都美術館(1994年) ・第45回モダンアート展 奨励賞 東京都美術館(1995年) ・第48回モダンアート展 奨励賞 東京都美術館(1999年) ・モダンアート明日への展望展 俊英作家賞 埼玉県立近代美術館(1999年) 		

研究領域	複合領域 (デザイン学・芸術学)		
研究テーマ※	造形素材としての光		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 造形表現の世界も多様化が進んでおり、さまざまな新しい素材がアート作品に使用されている。「光」を素材とした作品についても、世界のアートシーンで数多く見かけるようになった。「光」を素材とした造形表現は、より新たな視点からのアプローチが必要といえる。「光」を用いた造形作品を制作するには、科学的な光の性質を理解し、造形物への光の活用と効果を分析することは必定といえる。造形素材としての光の新たな可能性を実験を通して探究し、そこから得た分析結果を作品制作へ応用することを本研究は目指している。物理学にあるような科学知識としての「光の現象」にとどまることなく、「造形的な美しさ」や「視覚的な面白さ」を引き出す光の効用を解き明かすことが本研究の目的である。</p>		
			
			

	<p>【応用例、研究の展望】 光が持つ多くのユニークな性質、「反射」「散乱」「屈折」「干渉」「回折」「偏光」などの基本的な特性をいかに活用して造形作品へ取り込むかを考察している。今後、科学を介在させた素材としての「光」への関心はさらに深まるものと思われる。科学とアートの融合から視覚に訴えかける光の知覚や美の創出は、機器や機材の発展に伴ってさらに進化するであろう。</p> <p>【研究方法の特色】 基礎造形学の立場から光の造形素材としての可能性を探り、自身の作品へ活かしている。光の性質に関する研究を重視することはもちろんであるが、それらに関わる機器や素材の造形的な働きやその効果についての研究にも力を注いでいる。科学的な根拠に基づく理論研究をもとに実験を通して、制作に関する技法を探っている。</p>
<p>本研究関連 特許・論文等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和田直人、作品「蜃気楼2103」、Size 240×60×60cm、第71回モダンアート展、東京都美術館、2021年4月 ・和田直人、作品「蜃気楼2020」、Size 240×60×60cm、第70回モダンアート展、京都市京セラ美術館、2020年7月 ・和田直人、作品「蜃気楼1902」、Size 215×180×80cm、第69回モダンアート展、東京都美術館、福島県文化センター、2019年4月・7月 ・和田直人、作品「蜃気楼1803」、Size 215×150×100cm、第68回モダンアート展、東京都美術館・京都市美術館別館、2018年4月・6月 ・和田直人、作品「蜃気楼(Blind picture books No.2)」、Size 215×110×80cm、第67回モダンアート展、東京都美術館・奈良県文化会館、2017年4月・7月 ・和田直人、作品「蜃気楼(Blind picture books)」、Size 215×120×70 cm、第66回モダンアート展、東京都美術館・愛知県美術館、京都市美術館、2016年4月・6月・7月 ・和田直人、作品「蜃気楼1502」、Size 200×100×90 cm、第65回モダンアート展、東京都美術館・愛知県美術館、2015年4月・6月 ・和田直人、作品「蜃気楼1402」、Size 210×150×60 cm、MDA 48 モダンアート展(開館10周年記念展示)、金沢21世紀美術館、2014年10月 ・和田直人、作品「蜃気楼1303」、Size 180×150×100 cm、第63回モダンアート展、東京都美術館・京都市美術館・愛知県美術館、2013年4月・5月・6月 ・和田直人、作品「蜃気楼1210」、Size 200×100×50 cm、2012 YOKOHAMA NOW展、横浜市民ギャラリー、2013年10月 ・和田直人、作品「蜃気楼1202」、Size 200×150×100cm、第62回記念モダンアート展、東京都美術館・京都市美術館・愛知県美術館・福岡市美術館、2013年4月・5月・6月・7月
<p>共同研究・外部機関との連携への期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光を用いた造形作品の制作 ・光を素材とした造形ワークショップ ・光を素材とした美術教材の開発